

トヨタ財団国際助成プロジェクト 第1回日本側プロジェクト会議記録

【日時】 2017年11月11日（土）9:30～12:30（午後から JASBEL 常任理事会）

【会場】 大阪教育大学天王寺キャンパス西館第1会議室

【議題】

- 1 経過報告
- 2 日本側ブックレットの目次構成の検討
- 3 今後のスケジュールと作業内容の確認
- 4 予算案
- 5 「変化の記録」の作成について
- 6 全国夜間中学校研究大会時の「学びあい交流会」について
- 7 第3回研究大会時の「学びあい交流会」について
- 8 トヨタ財団プロジェクトと並走する科研費の申請について

1 経過報告

【資料】 確定版 トヨタ財団国際助成プログラム申請書 1頁

【資料】 9月3日の顔合わせの初会合 記録参照

プロジェクト予算総額 700万円

韓国 300万円にお渡しする。日本側は予備費も含めて 400万円。

2 日本側ブックレットの目次構成の検討

JASBEL 研究委員会（森さん、新矢さん）提案

3 予算案

【資料】 確定版トヨタ財団国際助成プログラム申請書 10頁

日本側予算案 400万円（2年間）

<謝金>100万円

- ・韓国側との通訳翻訳及び連絡調整 20万円（2017年10月～2018年5月）×2名
 - ・教材翻訳
 - ・パンフレット翻訳
 - ・通訳ボランティア
 - ・会場整理アルバイト
 - ・テープおこし謝金
- 科研が採択されれば、そちらから支出。
肥後さんと金さんへの謝金も科研の結果で相談。

<旅費>100万円

- ・韓国渡航費
 - ・国内移動旅費
 - ・インドネシア、タイ、ネパールから1名分ずつの旅費
- 科研が採択されれば、プロジェクト事務局メンバー（森、新矢、長岡、金、肥後、添田）分はそちらから。

<消耗品>24,000円

- ・文具代等

<会議費>33万円

- ・第4回研究大会の会場費にあてることも可能。
- ・プロジェクト定例会会場代

<印刷・製本費>80万円

- ・ブックレット（出版はせずにホームページ上で公開予定）レイアウト代
- ・「変化の記録」動画作成
←業者に発注するかで金額が大きく変わる。

<資料・複写費用>9万円

- ・教材買取り
- ・韓国訪問先の資料代（謝金の代わりとして）

<その他>756,000円

- ・ホームページ改訂費 当初予算 585,000円
- ・ホームページ関連 585,000円で予算
←会議費を多めに組んでいたため、そちらから使用変更。トヨタ財団の了承済。

◆振込時期◆175万円×4回

第1回：2017年11月上旬

第2回：2018年5月末

第3回：2018年11月末

第4回：2019年5月末

4 今後のスケジュールと作業内容の確認

◆会計報告◆ 支出明細登録ならびに領収書提出

第1回締切：2018年5月11日(2017年11月1日～2018年4月30日分)

第2回締切：2018年11月9日(2018年5月1日～2018年10月31日分)

第3回締切：2019年5月10日(2018年11月1日～2019年4月30日分)

◆変化の記録◆

第1回締切：2018年5月11日

第2回締切：2018年11月9日

第3回締切：2019年5月10日

◆最終報告◆

2019年11月29日

支出明登録ならびに領収書提出、変化の記録、完了届・実施報告書

4-1 ホームページの改定作業

【資料】見積

- ①学会ホームページのアクセサビリティの向上（スマホ対応、イベント情報発信）
- ②トヨタ財団プロジェクト専用ページ開設
- ③アジア基礎教育ネットワーク会議 ティザーページ開設
- ④学会誌ページの改訂）←プロジェクト経費外

4-2 教材翻訳

2017年11月24日、都教委訪問（上杉会長、見城さん、関本さん）で、『国語四』の学会ホームページ配信を依頼。
あわせて『国語八』と『国語八』の韓国語翻訳を打診。

4-3 ブックレット

12月3日の日韓プロジェクト会議で構成を決定。
第3回研究大会までに日本語版パンフレット発行（2018年8月末）
韓国語翻訳版は2019年5月頃の発行をめざす。
日韓で足並みを揃えて進めていく。韓国側にもこのスケジュールで打診。

4-4 その他

- ・第2回研究大会で放映した識字・日本語連絡会作成の動画の韓国語字幕版を作成してはどうか。韓国側の流したのものも同様に依頼。

5 「変化の記録」の作成について

- ・2名以上での記録が必須。
⇒日韓1名ずつ担当を決めて記録を蓄積してはどうか。
- ・「変化の記録」動画の作成
⇒加えて、いろいろな媒体での発信が求められるので「変化の記録」動画を作成。
動画作成は日本側が中心で進める。字幕を韓国語と日本語で作成。

6 全国夜間中学校研究大会時の「学びあい交流会」について

2017年12月1日（金）関西空港着→大会参加 夜間は学校見学
8:30 金浦空港発→10:10 関西空港着（8名）
2017年12月2日（土）全国夜間中学校研究大会参加 全大会で紹介
16:30～18:30 教育機会確保法に関する学びあい
【講師】関本保孝さん、庄司匠さん
19:00～21:00 交流会 ダイワロイネットホテル堺東
会費 5,000円
2017年12月3日（日）午前～12:30 日韓合同プロジェクト会議

氏名	所属	性別	3日
キム・インスク	全国文解基礎教育協議会代表	女	○
ムン・ジョンソク	青い人々代表	男	○
チェ・ジョンボク	古康総合社会福祉館館長	男	
アン・ジンヒョン	サムソン実業学校校長	男	○
パク・ヨンド	全国夜学協議会会長	男	
ジョン・ウンギョン	韓国文解教育協会会長	女	
チョン・ソンホ	全国夜学協議会教育研究院 院長	男	
キム・ソヨン	全国文解基礎教育協議会事務局幹事	女	○

<準備状況>

- ・大会資料集の一部翻訳（主題提起、活動報告、活動計画、夜間中学をめぐる動向）
- ・生徒体験発表の翻訳 3名分
- ・通訳 肥後さん、藤田さん、通訳ボランティア2名（予定）
←通訳ボランティアは、大阪の識字教室の学習者1名が手を挙げてくれている。
NPO 法人コリアン支援センターにも打診中。1日1万円。
- ・交流会
和食レストラン「大地の恵」（ダイワロイネットホテル東堺）
会費制 5,000 円←韓国側も了承済。以降、日韓交流は会費制で行う。
感想を述べあう語りあいの時間にしたい。
- ・空港までのお迎え（肥後さん、添田） お見送りなし。

7 第3回研究大会時の「学びあい交流会」について

プロジェクトの柱の一つに位置付けていただきたい。

たとえば、韓国の基礎教育に学ぶシンポジウム。日本側には文科省もぜひ。

8 トヨタ財団プロジェクトと並走する科研費の申請について

【資料】 科研申請書